Q&A

部活動について

勝山高校には１７の部活動があります。加入は強制ではありませんが、９０%以上の生徒が部活動に加入しています。地域の中学生数が減少傾向の中、新しい部活動の創設についてはなかなか難しいのが実情です。しかし、水泳や卓球、柔道など、一部の競技の個人種目については、部活動がなくても、大会に出場できるようにしています。部活動の時間は放課後１６：４５頃から１８：３０頃までです。

部活動ごとの活動状況については、部活動紹介や部活動見学の際に直接質問してみてください。

寮について

ひびき寮があります。定員は男子７名・女子７名です。毎年、卒業した生徒数分を新たに受け入れています。そのため、性別によって、また、年度によって受け入れ可能人数が異なります。通学時間や通学方法等を考慮して入寮者を決めています。希望者が受け入れ人数を超える場合は、入寮できないこともあります。

授業・考査・学習について

勝山高校では、１週間で３１時間の授業があります（１日６時間、金曜日のみ７時間)。月曜から木曜までの７限目の時間は自分で計画を立てて学習する時間（勝高タイムＫＴ）です。

高校の授業は、進度が早く、学習する内容が多い上に、皆で話し合ったり、意見を交換したりする活動をします。そのため予習や復習を必ず行い、基礎的な学習内容は自分で繰り返し取り組んでおくことが必要です。授業での活用だけでなく、日常的な連絡や課題の提出等をタブレットで行う教科も多いです。

定期考査は、１学期・２学期に中間考査と期末考査、３学期は期末考査（１・２年生のみ）が実施されます。１科目５０分で、１日２科目から４科目実施され、３、４日間続きます。その他、教科によって、単元テストや小テストを実施します。

高校での学習は、自分から取り組むことが重要です。ＫＴの時間や動画教材を利用して、自分から学習する習慣を身につけてください。学習と部活動を両立している生徒はたくさんいます。

進路支援について

具体的な進路状況については、学校案内のパンフレット、勝山高校のホームページをご覧ください。国公立大学への進学者割合は約２５％、それを含めた四年制大学への進学者割合は約６０％です。就職する生徒はおおよそ１～２％です。

普通科も探究特進科も進路支援の体制に変わりはありません。どちらの学科からも国公立大学の受験は可能です。難関大学を目指す場合は探究特進科の受験をおすすめします。（一般入試で探究特進科を受験する場合は普通科を第２希望とすることができます。）

難関大学をめざす生徒が共に合格を目指すＫＮＣ（勝高難関大サークル）があります。全体ミーティングの他、難関大模試の受験やサイエンスダイアログの受講、東大金曜講座の視聴を通して、受験を乗り越えていく力を励まし合いながら身につけています。教えてもらう学習会ではなく、自ら学ぼうとする生徒たちの集まりです。ＫＮＣには、普通科の生徒も探究特進科の生徒も参加できます。

学校生活について

高校には給食はありません。お弁当を持参する生徒が多いです。購買でのパン販売があります。飲み物は自動販売機でいつでも買えます。

学校は８時２０分までに登校することになっています。７時過ぎから登校する生徒もいます。下校時間はまちまちですが、早い生徒で１７時頃、部活動をしている生徒は１９時頃になります。学校内の自習室は、１８時３０分まで使えます。勝山市が教育会館に開設している「勝高自習室」は２１時３０分まで使用できます。

勝山高校では、自分から学習に取り組む生徒を大切にしたいと考えています。家庭でも学習時間を十分に確保してもらう観点から、アルバイトは原則として認めていません。ただし、長期休業中については、認める場合があります。

探究活動について

「探究」とは、自分がたてた問いについて、自分のこたえを考え続ける活動です。問いを立てるために、授業で様々なことを学んだり、自分について深く考えたりします。また、ＫＴの時間や夏休みを利用して、大学の先生や企業の方々から、様々な分野の話を聞きます。そのうえで、じっくりと自分のテーマを決めていきます。先生方は相談には乗りますが、探究のテーマは自分で決めます。

こうした探究の時間を多く設置しているのが、探究特進科です。１週間に学習する教科やその時間数が普通科とは異なるので、学科を途中で変更することはできません。

普通科のクラスのうち一つは「特進クラス」です。探究特進科との違いは、総合的な探究の時間の時間数です。普通科では「総合的な探究の時間」は週に１時間です。その分、普通教科の時間が多くなっています。